

MDMAの場合

MDMA使用者の体験

- ・錯乱・憂鬱・睡眠障害
- ・高血圧、心臓の機能不全
- ・肝臓の機能不全
- ・悪性の高体温による筋肉の著しい障害
- ・腎臓と心臓血管の損傷
- ・心臓発作
- ・脳卒中、けいれん
- ・記憶障害

1. (14才、中学生 男子)

「小さい人間がいっぱいやってきて、剣で自分を刺し殺そうとする。」

2. (18才、少年 男子)

路上で暴れ、病院につれていかれた。入院すると「暑い、暑い」と全裸になり、1カ月の興奮状態がつづき、「バカヤロー、部屋から出せ」と大声でわめき散らして食事を床に投げつけたり、医者などになぐりかかり、「自分は鬼になっている」と妄想に取りつかれてしまった。

3. (17才、女子高校生)

「MDMAを飲んだら眠れなくなってしまった。頭が回転しなくなり、気分が落ち込んでしまって、学校の先生の話が1割も頭に入らなくなってしまった。もう6カ月も経つのに一向に元に戻らない。つらくて仕方がない。死んだ方がましだ。」

MDMAは、使用者の体験から明らかのように、興奮作用と幻覚作用を併せ持つ大変恐ろしい薬物です。

違法ドラッグの場合

(いわゆる脱法ドラッグ)

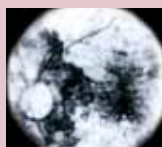
意識消失、幻覚、視覚過敏、聴覚過敏、精神運動興奮、見当識障害など、
薬物の種類ごとにさまざまな症状あり

※違法ドラッグとは、法律の規制が及ばないかのように、「合法ドラッグ」「脱法ドラッグ」などと称して販売されている薬物です。脳と身体に害を与える成分が入っていて、薬事法等で製造、輸入、販売等が禁止されています。

シンナーの場合

記憶力低下、認知障害	視力の低下・失明
急性中毒:事故	肝臓・腎臓の障害
精神障害:有機溶剤精神病 (幻覚、妄想)	生殖器の萎縮
重篤な依存症	手足のふるえ、しびれ、 麻痺
歯がぼろぼろになる	

眼



視神経がおかされる
眼底出血がおこる
(視力低下、失明)

歯



ぼろぼろになる

腎臓



細胞の一部が
死ぬ
(タンパク尿)

気管支・肺



粘膜がおかされる
(せきが出る)
急性気管支炎で
死亡することもある

肝臓



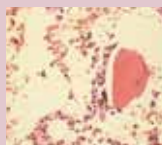
細胞の一部が
死ぬ
(食欲不振、黄疸、腹水)

心臓



血圧上昇

骨髄



赤血球が
つくられなくなる
(貧血)

その他の害

薬物を注射で乱用する場合、各種の感染症(エイズ、肝炎など)の原因になります。
大麻では精子の異常が、シンナーやコカインでは先天異常などの報告があり、妊娠、出産にも悪い影響があります。